

【消化器外科からのお知らせ】

ロボット（hinotori™）を用いた内視鏡外科手術を開始しました！

消化器外科では、2025年5月より内視鏡手術用支援機器ロボット（hinotori™）手術を開始しました。すでに、胃のロボット手術、大腸（結腸・直腸）のロボット手術、そして、肝臓のロボット手術を実施し、手術は大きな問題なく安全に施行することができました。

hinotori™を導入している施設の中でも、短期間で多くの症例を実施している病院のひとつとして注目されています。

これまでも腹腔鏡手術をメインに消化器外科手術を行ってきましたが、従来の“曲がらない”腹腔鏡鉗子とは異なり、鉗子先端が、術者の意図を忠実に再現する“曲がる”鉗子となり、より精緻な手術操作が可能となっています。

地域の中核病院としての役割を今まで以上に果たすために、患者さんにより安全で低侵襲の手術を実施できるように努めてまいります。

（写真はロボット支援下肝切除の様子）

